FA（フリーアクセス対応）タイプの施工方法

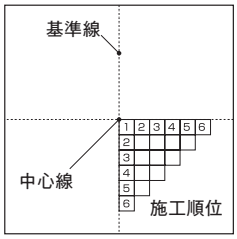
施工の前に

■下地の点検 → ■割り付け 墨出し → ■材料保管 → ■材料確認 → ■養生

- ①平滑さ、②乾燥、③強度、④汚れを点検します。
- 施工現場を実測し、割り付け図をもとにして、割り付け、墨出しをします。
- 材料保管の善し悪しによって仕上がり状態が左右されます。
  ①乾燥した平坦な室内に保管し、直射日光は避けてください。
  ②室内温度10~25℃、湿度75%以下での保管が最適です。
- 品番・ロット番号・数量を確認し、同一場所に他のロットのものが混在しないようにしてください。
- 10℃以上に保たれた室内の平滑な場所でタイルを箱から取り出して、表面を上にして1~2日程度積み重ね、クセを取り除いてください。
特に冬季はクセが取れにくいので、必ず箱から出してください。

施工手順

1. 施工する部屋の中心を基準にして、直角に交わるタテ、ヨコの基準線を墨出しし、部屋を４区分します。出入り口、廊下、壁面などには極端に小さなカットが入らないように、中心点を調整して割り付けてください。
2. 基準線に沿って基準タイルを施工します。
3. 施工はピラミッドの形にすすめてください。



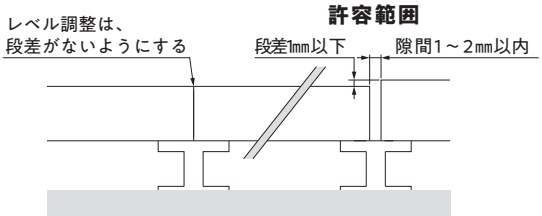
4. 製品によって流し貼り又は市松貼りにて貼ってください。
5. 同一場所は同ロットの製品で施工してください。
施工前に必ず品番、ロット番号、数量を確認してください。
6. 目違い修正は、圧着する前に修正してください。
7. 接着剤が硬化するまでは、冷暖房による急激な温度変化や直射日光は避けてください。
8. 壁際などの端部は、隙、浮きのないように納まりよくカットし、ハンドローラー等で入念に圧着してください。圧着不足は接着不良につながり、後日突き上げ、剥離などを引き起こす原因になります。
9. 接着剤は、ピールアップ接着剤（アクリル樹脂系エマルション形）をご使用ください。

⚠注意
目地ズレが発生した場合は、ズレが大きくなる前にタイルをカットし、目地調整をしてください。

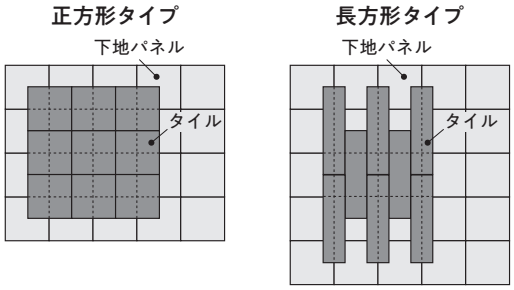
[接着剤：AB-700P]

二重床（OA下地）に施工する場合の注意点

下地パネルの段差は１㎜以内、隙間は１～２㎜以内になるよう、レベル調整を正確に行ってください。



- 15℃以上の室温になじませてから施工してください。タイルと室温に温度差があると施工後突き上げ、目地隙を引き起こす原因になります。
- **室温が 15℃以下の場合は、タイルとタイルの間に名刺2枚分の隙間を空けて施工してください。**
- タイルのつめすぎは、施工後突き上げの原因になります。
- パネルの目地をまたぐ様に施工します。
パネルの目地とタイルの目地が重ならない様タイルをカットし、目地を調整してください。



⚠注意
下地パネルとタイルの端を揃えて貼ると、目地スキ段差が発生しますのでご注意ください。